

ジェイアールバス東北本部

第7号

2020年9月28日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一

編集：情宣部

分会代表者会議開催

バス東北本部は、2020年9月11日（金）、仙台地本会議室において分会代表者会議を開催し、中央本部井上業務担当部長、本部バス分科会佐藤副会長にも参加頂き、各職場の現状と課題について議論しました。

古川分会からは、古川営業所の仙台支店への業務移管を受けて、これまで組合員の生活を大切にしよう訴え続けてきた経過と、組合員に寄ったたかいから得られた成果が報告されました。

二戸分会からは、組合員が新型コロナウイルスへの感染が疑われた時からの苦労や問題点が語られましたが、全職場の組合員が感染のリスクと隣り合わせて乗務している現実と、今後の感染対策について議論がおこなわれました。さらに、万一感染した場合でもプライバシーが守られることや、治療後も安心して元の生活に戻れる環境など、公共交通機関で働く者に対する世間の目を業界全体の課題として、JR東労組そしてJR総連と連携し取り組むことを確認しました。

また、青森分会からは、業務量減少に伴い仙台圏に多くの転勤が発生していることから、転勤者の更なる負担軽減を求める発言がありました。

この転勤問題はバス東北が抱える長年の課題であり、今後も解決に向け、転勤者を多く出している北東北の職場だけではなく、全職場で議論を展開していくことを改めて意思統一しました。

厳しい組織現状の中ではありますが、これまでの団体交渉の経過を確認し、労働組合・東労組の存在意義を確認するとともに、コロナ禍の厳しい状況を乗り越え、組合員の雇用と利益を守るために、労働組合としてやるべきことを「新生JR東労組運動宣言」をもとに、職場運動を強化することでJR東労組の必要性を訴え、組織強化・拡大へと繋げていくことを参加者全員で確認し終了しました。

**全組合員で職場の問題解決に向け議論し
組織強化拡大を目指そう！！**